



地域に多面的価値を創出する廃棄物処理施設整備促進業務

2019年度要求額
30百万円（新規）

背景・目的

- 一般廃棄物処理は地域の生活環境保全及び公衆衛生向上の観点から必要不可欠。また、廃棄物処理施設は地域の廃棄物処理施設や資源循環を担う根幹的インフラ。
- 一方、廃棄物処理施設は一般的に迷惑施設として認識されており、地域住民の理解と協力の確保には地域の創意工夫による不断の取組が必要。
- 近年では、施設から発生する熱を高効率に回収することによる地域のエネルギーセンターとしての機能や、処理工程の見学等を通じた環境教育・環境学習の場としての機能を具備する施設も存在。このような特徴を活かし、地域の社会インフラとしての機能を一層高め、地域に多面的価値を創出する廃棄物処理施設整備を推進していく必要。

事業概要

- 廃棄物処理施設を核とした地域振興策を計画している事例の調査分析、関係者との連携体制のあり方検討
 - 施設整備に当たって必要となる調整方法や連携手法をとりまとめたガイダンス作成、自治体職員向け研修会等の開催による周知
- ⇒ 地方公共団体による地域に多面的価値を創出する施設の整備を促進

事業スキーム

環境省
(施策の検討・地方公共団体への周知)



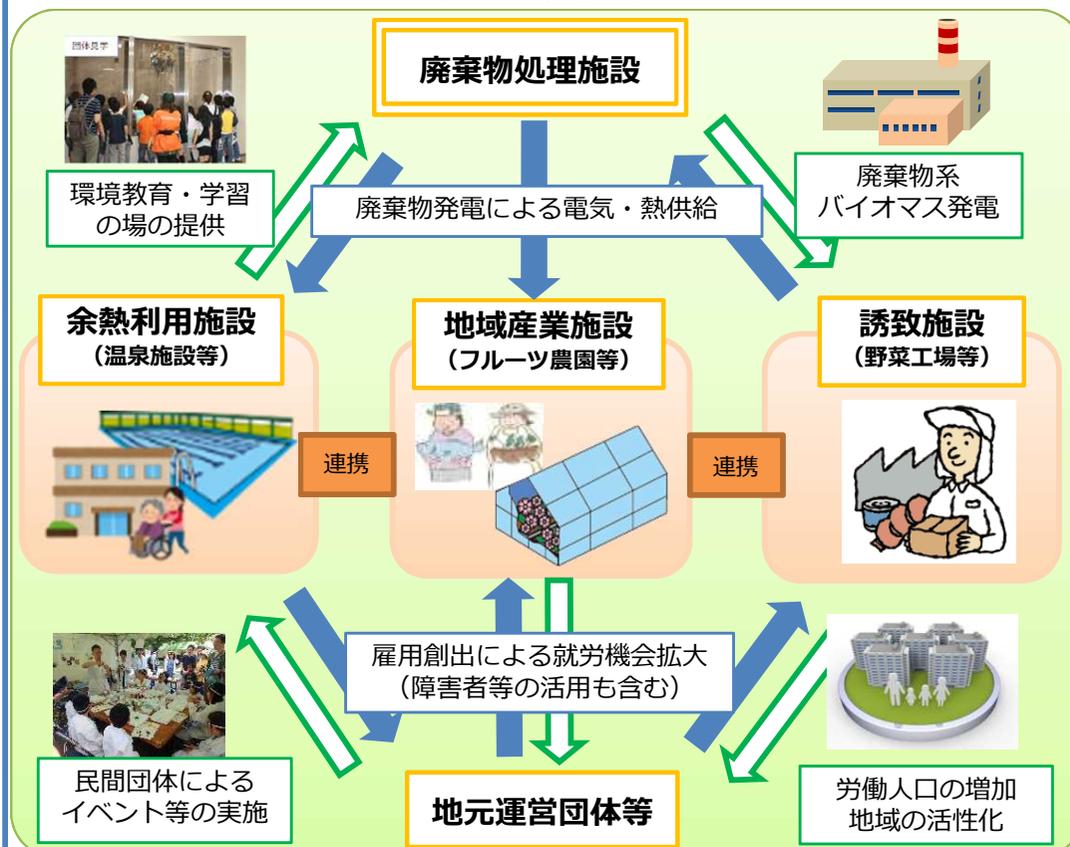
請負事業者
(調査の実施、研修会の開催等)

期待される効果

- 地域への多面的価値を創出する廃棄物処理施設整備の推進による地球温暖化対策、災害対策、地域へのエネルギー供給、環境教育・環境学習、雇用創出・産業誘致、経済活性化等

イメージ

＜地域への多面的価値創出の例＞



地域の核となる廃棄物処理施設整備の推進